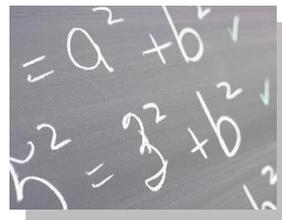


数 学



【傾向】

- ・ 大問【1】、大問【2】の**計算系の問題**、合計得点が45点と高かった。
- ・ 例年、出題傾向の高かった**作図問題**が出題されず。
- ・ **統計**ではなく**標本調査**が出題された。4年ぶりの出題であった。
- ・ **関数**、**グラフの読み取り**問題が出題されず、図形から**動点**の問題が出題された。例年に比べ、難易度は高くなかった。
- ・ **証明**問題は、1年おきに**合同**と**相似**が交互に出題されている。30年度は**合同**の出題確率が高いことが予想される。
- ・ **規則性** 一般入試2日目に行われた筆答検査Aの内容と比較すると、かなり易しい内容であった。

【対策】

- ・ 大問【1】【2】だけで、5割弱の配点となっており、**数学が苦手な生徒は大問【1】【2】対策**をしっかりと行うこと。
- ・ **6～7割の得点率を目指す生徒は**、難しそうな問題でも最初から諦めないで粘り強く取り組むことが大切。
大問【4】～大問【6】の問題でも、最初の(1)(2)の問題は十分解答可能なものが出題されている。したがって、普段の学習や学校内テストや模試でも、諦めずにまずは解いてみる必要がある。
- ・ **高得点を目指す生徒は**、早い段階から関数や立体図形の問題も取り組む必要がある。入試直前期にはそれまでの問題を反復練習し、ケアレスミスなど取りこぼしの無いよう備える。